

進路だより



福島県立たむら支援学校
進路指導部通信 第2号
令和2年12月24日発行

中学部

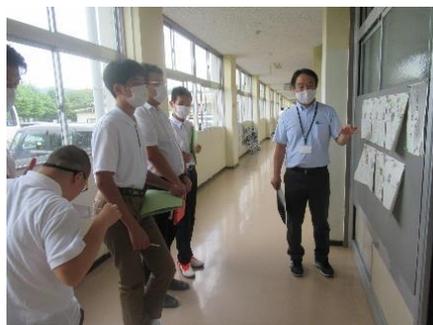
「高等部体験学習について」

3年生は7月6日(月)、2年生は9月18日(金)に高等部体験学習を実施しました。高等部の学習活動を見学したり体験したりすることで、高等部について知り、中学部卒業後の進路について関心を高めることができました。また、高等部の学習や生活について話を聞いたり調べたりしたことで、生徒一人一人が目標をもち、意欲的に進路学習に取り組むことができました。

「産業現場等における実習について」

前期は9月28日(月)～10月2日(金)の5日間、後期は12月1日(火)～10日(木)の8日間、「産業現場等における実習」を実施しました。生徒一人一人が目標をもち、目標達成に向けて一定期間継続して作業に取り組む経験を通して、働くことに関心をもち、将来の職業生活や社会自立に向けて基礎・基本となる力を育む機会となりました。

(2年生高等部体験学習)



(3年生高等部体験学習)



(産業現場等における実習)



高等部

高等部では、11月2日(月)～13日(金)までの9日間、企業、田村市役所、福祉サービス事業所の御協力をいただき、産業現場等における実習を実施しました。校内実習では、企業からの委託作業として、割り箸の袋入れ作業、カレンダー巻き作業を行いました。個人で目標を設定し、目標を達成できるよう意識をして作業に取り組む姿が見られました。2週間の取り組みにより、割り箸の袋入れ作業では3万6千本、カレンダー巻きの作業では1万4千枚の出来高を達成することができました。また、田村市役所の清掃作業では、駐車場、自転車置き場、正面玄関の清掃を、高圧洗浄機を使用して行いました。任された仕事に責任をもち、最後まで丁寧に仕事をする大切さを感じることができ、よい経験となりました。

今回の実習で、1年生は初めての校外実習も経験しました。事業所や企業での実習で、自己理解を深めながら周りの方と協力する大切さを学ぶことが出来ました。実習を通して実践的な知識や技能を学び、卒業後の自らの進路選択に向けて意識を高めることが出来ました。

(カレンダー班：カレンダー巻き)



(割りばし班：割り箸入れ)



(校外実習：衣服の袋詰め)

